

新見市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 (第44回)

日 時：令和4年11月17日(木) 16時30分～

場 所：新見市役所南庁舎3階 大会議室

1. 開 会

2. 議 事

(1) 県内・市内の感染状況等(資料1)

(2) 岡山県の対応について(資料2)

(3) 本市の対応について(資料3)

(4) その他

3. 閉 会

新見市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 構成員名簿

【対策本部】

本部役職名	役職名	氏名
本部長	市長	戎 齊
副本部長	副市長	野間 哲人
本部員	教育長	正村 政則
	総務部長	高瀬 広視
	福祉部長	大田 好江
	産業部長	田辺 仁志
	建設部長	大西 俊之
	教育部長	小林 保
	消防長	富谷 剛
	議会事務局長	後藤 吉明
	大佐支局長	名越 伸明
	神郷支局長	石倉 洋祐
	哲多支局長	長谷川 美幸
	哲西支局長	小川 泰典

【オブザーバー】

所 属	役職名	氏名
新見市議会	議長	石田 實

【新型コロナウイルス感染症対策アドバイザー】

所 属	役職名	氏名
新見公立大学	准教授	山野井 尚美



(1) 県内・市内の感染状況等

○県内の感染状況等（岡山県新型コロナウイルス感染症対策本部会議資料抜粋）

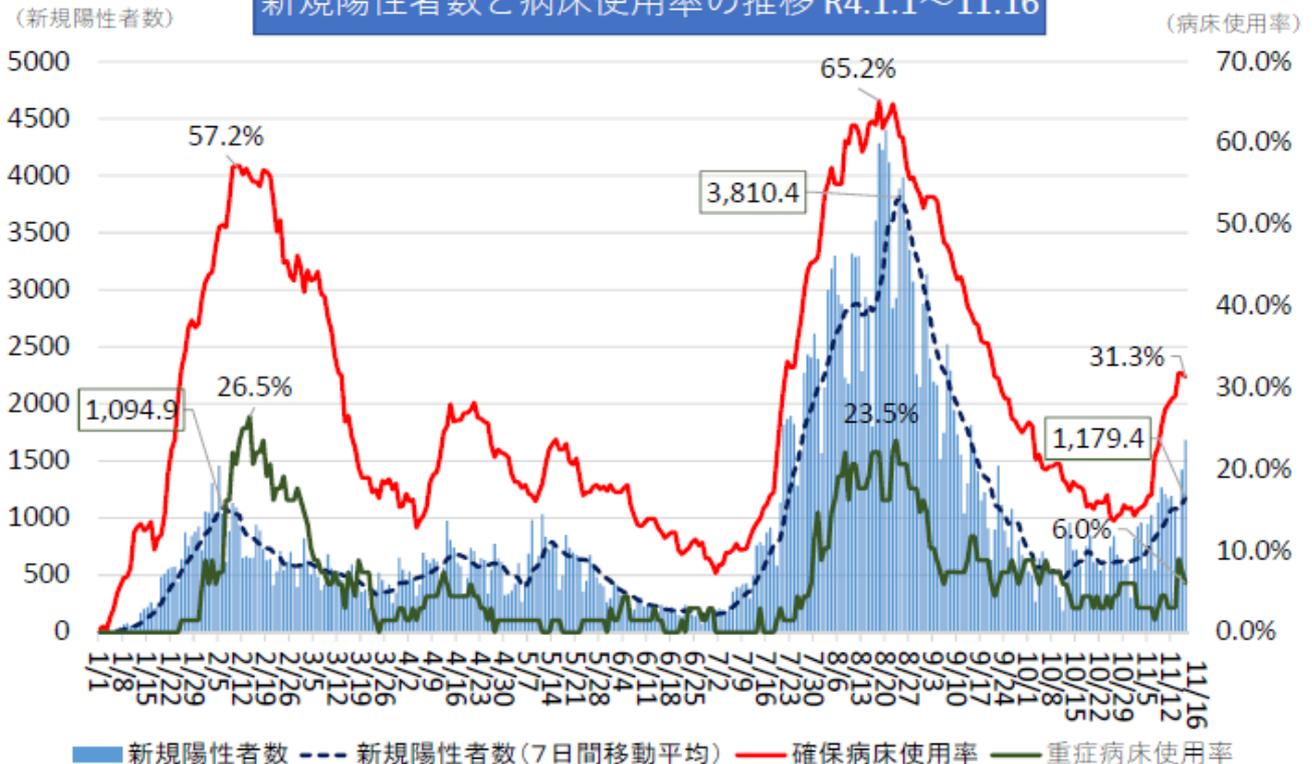
直近1週間の岡山県の状況（11/9～11/15）及びレベル判断

※速報値

区分	確保病床使用率		新規陽性者数		PCR等陽性率	10万人あたり検査者数	入院率	重症者数	人口10万人あたり自宅療養者数及び療養等調整中の数の合計値
	重症者用	10万人あたり	10万人あたり	今週先週比					
レベル2の目安	15%	参考	15人	参考	参考	参考	参考	参考	参考
さらなる重症増悪化	30%		30人						
レベル3の目安	50%		参考						
今週	31.8%	7.5%	415.15人	1.22	57.6%	415.1人	3.3%	5人	397.1人
	191床/ 601床	5床/ 67床	7,838人	7,838人/ 6,425人	7,550件/ 13,114件 (※)	7,838人	259人/ 7,838人		7,498人
	レベル2		レベル2						
先週比較	↑	↑	↑	↓	↑	↑	↑	↑	↑
時点	11/15		11/9～11/15		11/15				
11/3～11/9	22.6%	3.0%	340.31人	1.42	54.1%	340.3人	2.9%	2人	325.4人
	136床/ 601床	2床/ 67床	6,425人	6,425人/ 4,514人	6,425件/ 11,870件	6,425人	185人/ 6,425人		6,144人

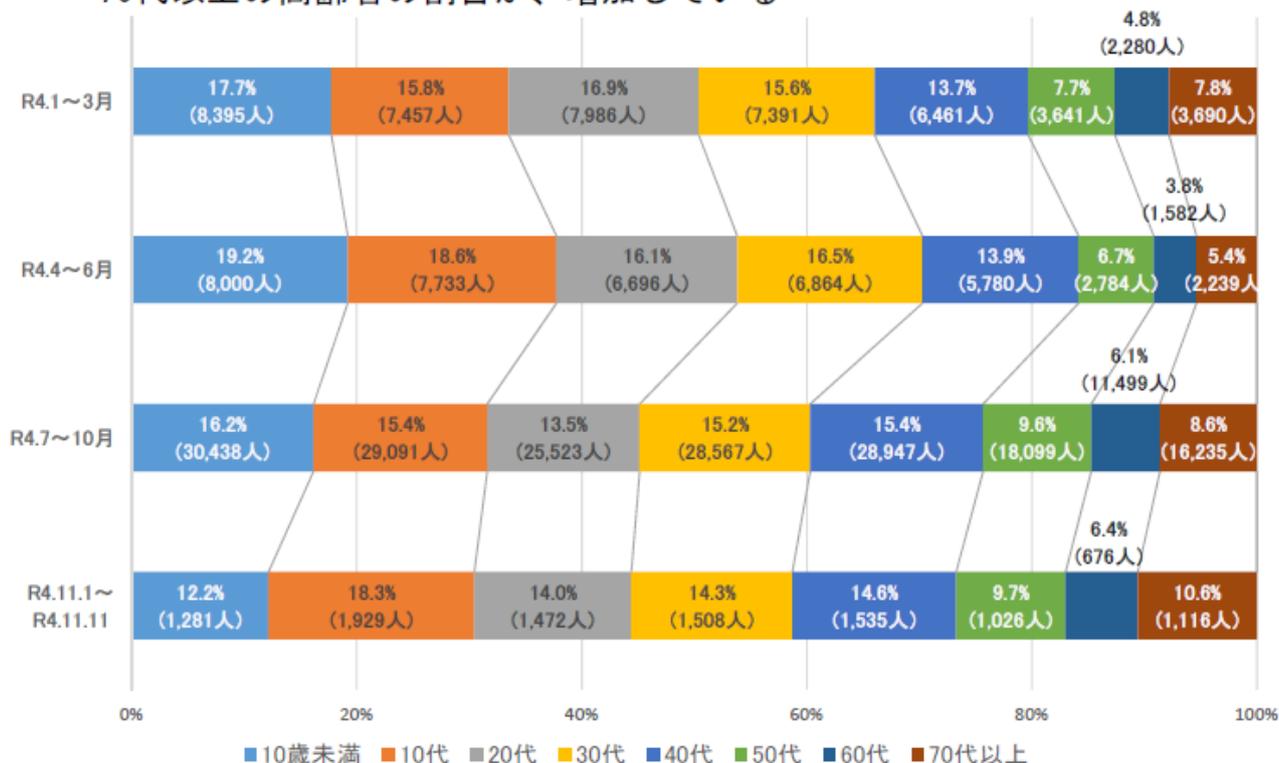
※ PCR等陽性率は、11/8～14の期間における（新規陽性者数）を（11月15日までに医療機関等から報告があった検査数）で除した割合。
 なお、濃厚接触者を医師の臨床診断により、検査を行わず陽性者と判断（みなし陽性）する場合がある。

新規陽性者数と病床使用率の推移 R4.1.1～11.16



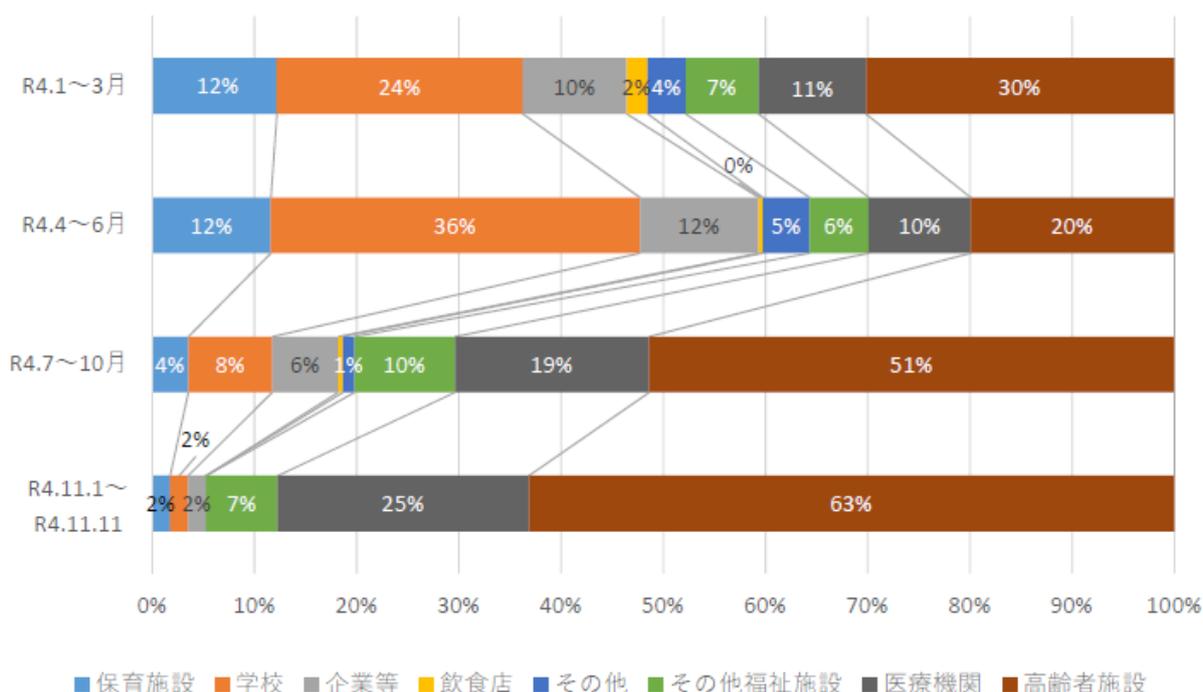
年代別新規陽性者数

70代以上の高齢者の割合が、増加している



クラスター件数

高齢者施設、医療機関でのクラスターが増加している



ワクチン接種状況（11月15日時点）

● 接種状況 ※括弧書きは接種率

区分	人口※ ₁	2回目	3回目	4回目	5回目
12～64歳	1,125,273	933,239 (82.9%)	716,476 (63.7%)	229,816 (20.4%)	2,835 (0.3%)
65歳以上	570,197	535,272 (93.9%)	517,641 (90.8%)	446,912 (78.4%)	34,341 (6.0%)
全年齢	1,879,187	1,488,600※ ₂ (79.2%)	1,238,293※ ₂ (65.9%)	676,728 (36.0%)	37,176 (2.0%)

● オミクロン株対応ワクチン接種（上記3～5回目接種に含まれる。）

区分	人口※ ₁	接種回数	接種率
12～64歳	1,125,273	120,484	10.7%
65歳以上	570,197	68,575	12.0%
全年齢	1,879,187	189,059	10.1%

※₁ 人口は令和4年住民基本台帳年齢階級別人口（市町村別）令和4年1月1日時点による。
 ※₂ 全年齢の2・3回目接種回数には小児（5～11歳）を含む。

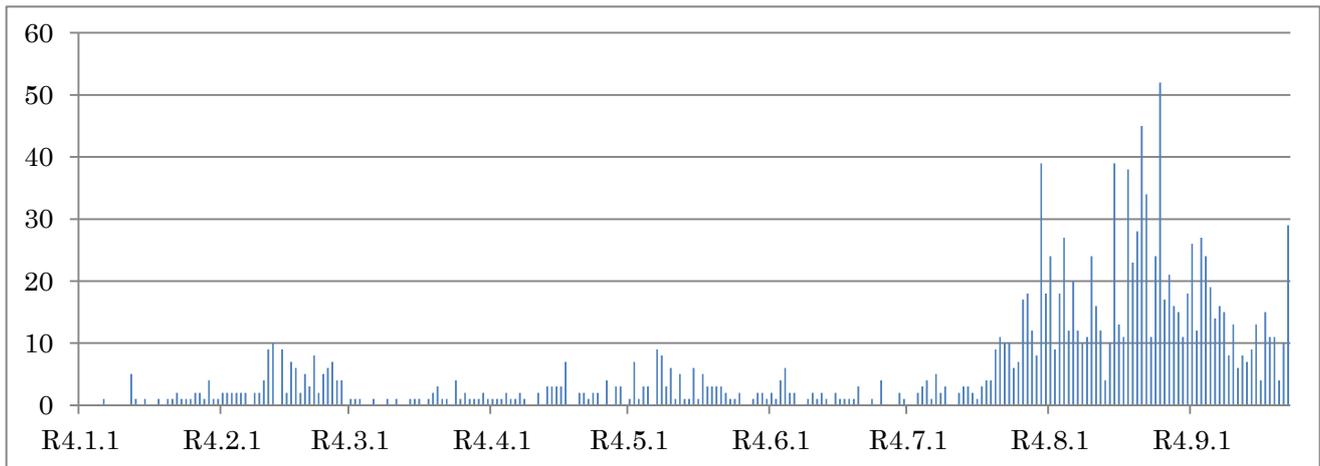
同時流行の患者数の想定

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザのピークが同時に重なった場合の1日あたりの最大患者数想定

	新型コロナ	インフルエンザ	計
想定条件	第7波の沖縄県のピーク時と同程度	過去8年間の最多数	
全国	約450,000人/日	約300,000人/日 (2019年1月)	約750,000人/日
岡山県	約 6,600人/日	約 5,300人/日 (2015年1月)	約 11,900人/日

※第7波における新型コロナウイルス感染症の最多新規陽性者数
 4,399人/日（2022/8/20）

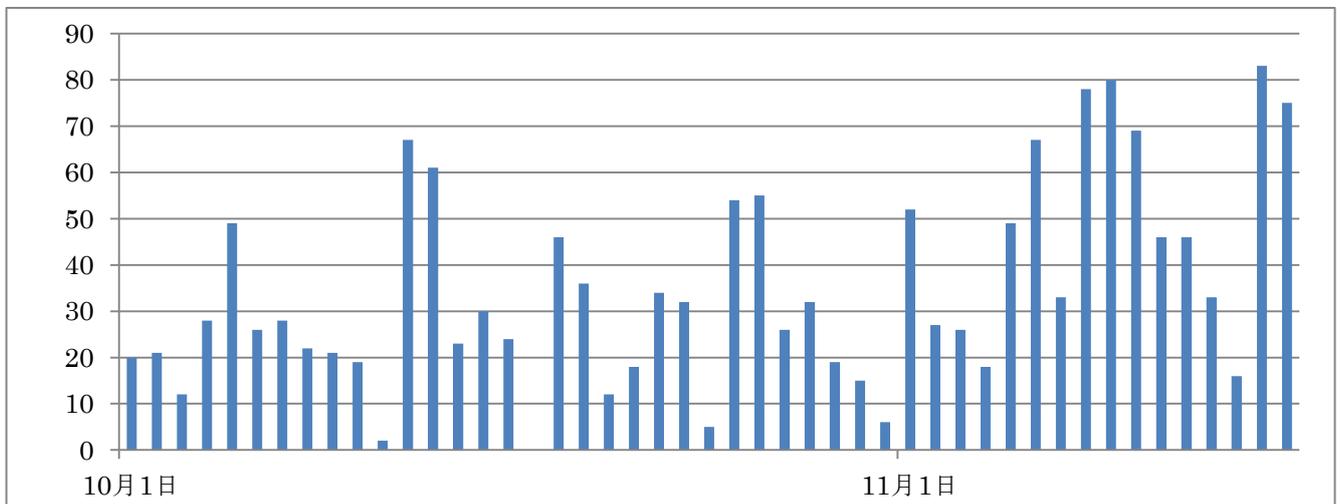
○市内新規陽性者数について（令和4年9月26日まで）



公表年月	R3年 12月まで	R4年 1月	R4年 2月	R4年 3月	R4年 4月	R4年 5月	R4年 6月	R4年 7月	R4年 8月	R4年 9月	累計
陽性者数 (人)	149	27	109	30	50	85	41	207	625	301	1,624
クラスター件数 (件)	6	1	4	—	—	1	—	6	5	—	23

(※) 令和4年9月は、1～26日の合計値

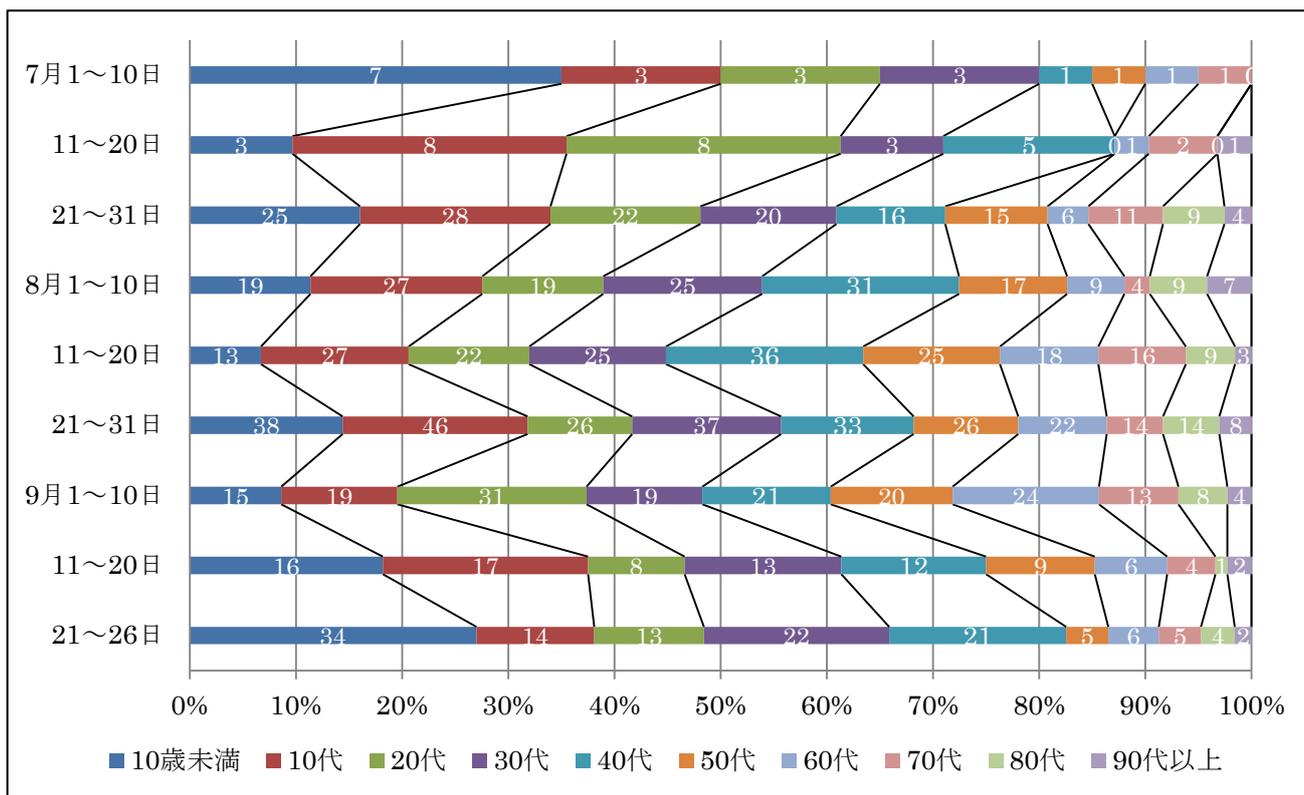
○備北保健所管内の陽性者数の推移（令和4年9月27日～11月16日）



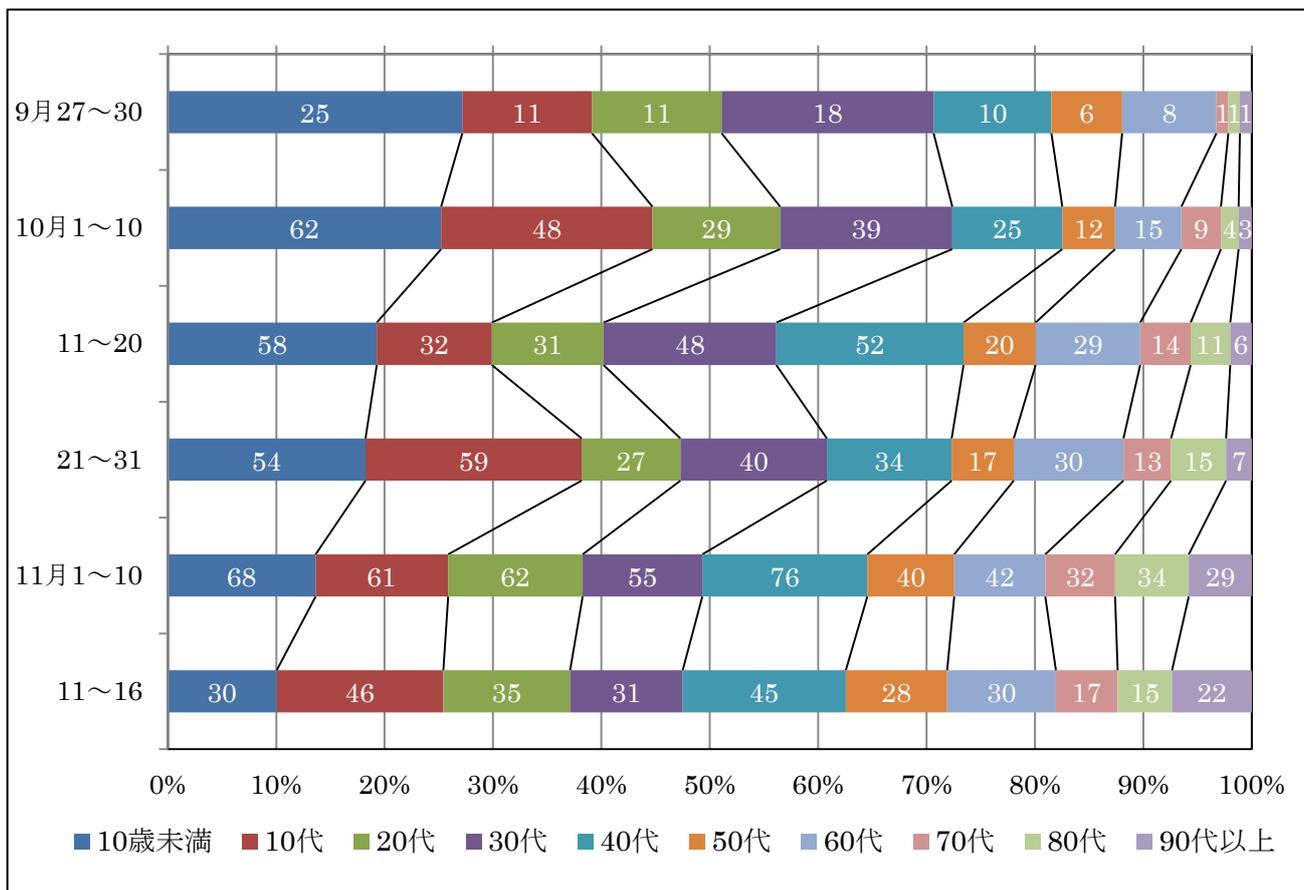
公表年月	R4年 9月	R4年 10月	R4年 11月								累計
陽性者数 (人)	92	843	798								1,733
新見市内 クラスター件数 (件)	0	0	3								3

(※) 令和4年9月は27日～30日、11月は1～16日までの合計値

令和4年7月～9月26日の市内新規陽性者数の推移



令和4年9月27日～11月16日の備北保健所管内新規陽性者数の推移



(2) 岡山県の対応（岡山県新型コロナウイルス感染症対策本部会議資料抜粋）

医療提供体制

同時流行、第8波に備え、新型コロナ医療と通常医療との両立を鑑み、次の医療提供体制とする。

●診療・検査医療機関

	4/1	10/1	11/17
医療機関数	581機関	615機関	646機関
増加数		+34機関	+31機関

●コロナ患者受入医療機関

	11/16まで	11/17から	増減数
確保病床数	601床	599床	-2床
（うち重症者用病床）	67床	67床	±0床
医療機関数	67機関	68機関	+1機関
（うち重症者用病床）	11機関	11機関	±0機関

診療・検査医療機関における休日診療体制の確保

休日（日曜日・祝日）において、発熱患者等の診療・検査を行う診療・検査医療機関（発熱外来）を支援し、医療提供体制を確保する。

対象医療機関

次の条件をすべて満たす医療機関

- ・診療・検査医療機関の指定を受けていること
- ・休日に3時間以上の診療・検査時間を確保すること
- ・かかりつけ患者だけでなく、初診患者の診療・検査を行うこと

※かかりつけ患者しか診療・検査を行わない場合は対象外

支援額

（3時間以上）10万円/日、（6時間以上）15万円/日
 ※小児の初診患者の診療・検査を行う場合は、5万円/日を加算

対象期間

- ・11月23日～令和5(2023)年1月末までの日曜日、祝日
- ・年末年始（12月29日～令和5(2023)年1月3日）

新型コロナ感染妊婦、透析患者の医療提供体制の強化

新型コロナに感染した妊婦の分娩や透析患者を受入れる医療機関は限定されるため、妊婦の分娩や外来で透析を行う医療機関を支援する。

対象医療機関	①分娩対応支援 コロナ患者分娩対応を行った医療機関 ※ハイリスク分娩管理加算を算定する医療機関を除く。 ②透析対応支援 透析が必要なコロナ患者に対し外来透析を行った医療機関
--------	--

支援額	①妊婦 1 名／日 32,000円 ②透析患者 1 名 30,000円
-----	--

対象期間	感染状況に鑑み、開始時期を決定
------	-----------------

高齢者施設等の従事者に対する集中的検査

4月以降入所系施設の従事者を対象とした集中的検査を実施しているが、12月、1月については、国からのキット配布を受け、対象施設を通所系、訪問系にも拡大し、検査回数を増やし、実施する。

対象地域	県内全域（岡山市及び倉敷市を除く） ※岡山市と倉敷市は各市の判断で実施
------	-------------------------------------

対象施設	入所系、通所系、訪問系の高齢者施設及び障害者施設 （約2,800施設）
------	--

対象者	上記施設の従事者
-----	----------

検査方法	対象施設に抗原定性検査キットを配布
------	-------------------

検査頻度	12月：1週間に2回、1月：1週間に3回 （10、11月は1週間に1回）
------	---

検査報告	キットを使用した施設は検査数及び結果を県に報告
------	-------------------------

実施期間	12月、令和5(2023)年1月
------	------------------

オミクロン株対応ワクチン 接種強化期間

～大切な人と安心して過ごすために～

実施期間：令和4（2022）年11月17日（木）
～12月30日（金）

- 主な取組：①広報活動
②接種機会の拡充
③高齢者施設への働きかけ

オミクロン株対応ワクチン接種強化期間の主な取組

①広報活動	<ol style="list-style-type: none">1 わかりやすい広報 中野貴司主任教授（川崎医科大学、厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会会長代理）によるQA形式でのわかりやすい広報を様々な媒体を活用して実施2 街頭での広報 岡山シーガルズと連携し、11月21日（月）に岡山駅前で実施
②接種機会の 拡充	<ol style="list-style-type: none">1 年末接種：県営接種会場（岡山県医師会館）<ul style="list-style-type: none">・日程 12月26日（月）～30日（金）の5日間（夜間）・種類 ファイザー（BA. 4-5）2 予約なし接種：県営接種会場（川崎医科大学総合医療センター）<ul style="list-style-type: none">・日程 12月の毎週金曜日 15：30～17：30・種類 モデルナ（BA. 4-5）3 大学出前接種 学生等をターゲットとして、12月に大学での出前接種を実施4 地元トップクラブチームと連携した取組 岡山シーガルズのホームゲーム開催時（11月27日（日））に臨時接種を実施
③高齢者施 設への働 きかけ	高齢者施設に対し、アンケート調査を実施し、調査結果に基づき個別ヒアリングによる年内接種の働きかけ

新型コロナウイルス感染症と季節性インフルエンザの同時流行を見据えた知事メッセージ

新型コロナウイルス感染症の新規陽性者が増加傾向にあります。

また、この冬には、季節性インフルエンザとの同時流行が懸念されており、再び、医療提供体制がひっ迫する恐れがあります。

感染拡大防止と社会経済活動の両立を図るため、基本的な感染対策の徹底と同時流行への備えをお願いします。

○基本的な感染対策の徹底を

場面に応じたマスクの着用や、手洗い、手指消毒、3密（密閉・密集・密接）回避など、引き続き基本的な感染対策を徹底しましょう。

特に、暖房時でも定期的に空気を入れ替えるなど、換気を徹底しましょう。

○体調不良時の備えを

発熱等の体調不良時に備えて、抗原定性検査キット※や自宅療養に必要な解熱鎮痛薬等を、あらかじめ購入しておきましょう。

※「研究用」ではなく国が承認した「体外診断用医薬品」（医療用）

もしくは「第一類医薬品」（一般用）の抗原定性検査キット



県内の抗原定性検査キット（医療用）
販売対応薬局（岡山県薬剤師会）

○早期のワクチン接種を

新型コロナウイルス感染症、季節性インフルエンザそれぞれのワクチンについて早めに接種しましょう。

・新型コロナワクチン

発症や重症化を防ぐため、オミクロン株対応ワクチンの早めの接種をお願いします。

・インフルエンザワクチン

接種を希望される方は、早めの接種をお願いします。

令和4（2022）年11月17日

岡山県知事 伊原木 隆太

(3) 本市の対応

オミクロン株対応ワクチン接種の促進

岡山県が決定した「オミクロン株対応ワクチン接種強化期間」とも連動し、本市でも、オミクロン株対応ワクチンによる早期接種を促進していきます。

● オミクロン株対応ワクチン接種の状況

- 9月28日 オミクロン株（BA.1）対応ワクチンによる接種開始。
- 10月21日 接種間隔が5カ月から3カ月に短縮されたことに伴い、市内では約5,200名が接種可能となる。
- 10月31日 オミクロン株（BA.4-5）対応ワクチンによる接種開始。

● 新見公立大学生を対象としたワクチン接種の実施

- 12月17日及び18日、新見公立大学と連携し、大学生を対象としたオミクロン株対応ワクチンによるワクチン接種を実施。

● 高齢者施設等におけるワクチン接種の促進

- 重症者リスクの高い高齢者等施設利用者に対して、施設管理者と連携し、速やかなオミクロン株対応ワクチンの接種を促進。

新型コロナワクチンの接種対象者拡大

新型コロナワクチンの接種対象者が拡大され、生後6カ月から接種可能となりました。

● 乳幼児（生後6カ月から4歳）に対するワクチン接種

- 10月24日 関係政省令の改正に伴い接種可能となる
- 11月17日 新見中央病院で接種開始